

再興
第111回

院展

INTEN The 111th Exhibition of the Japan Art Institute

日本美術院の重鎮から新鋭画家まで、現代の日本画を一堂に展覧。



前田 力「帰路」(第32回足立美術館賞)

新館 2026年 10月24日(土) — 11月15日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時 会期中無休

【入館料】大人 2,500円 / 大学生 2,000円 / 高校生 1,000円 / 小中学生 500円 (20名様以上で団体割引があります)

◎上記の入館料で「再興第111回院展」の他、日本庭園や本館、魯山人館で開催中の展覧会など、すべてをご覧いただけます。

◎公立学校が休校日となる土曜日は、小中高生の入館料を無料といたします(要学生証提示)。

【主催】日本美術院・足立美術館・山陰中央新報社・TSKさんいん中央テレビ 【後援】NHK松江放送局



〒692-0064 島根県安来市古川町320 TEL.0854-28-7111 足立美術館ホームページ <https://www.adachi-museum.or.jp/>

【交通】●飛行機／米子空港から車で45分・出雲空港から車で50分 ●JR／安来駅から車で15分

【無料シャトルバス運行中】JR安来駅より、便利な無料シャトルバスを毎日運行しています。お気軽にご利用ください。



再興第111回

院展

INTEN

The 111th Exhibition of the Japan Art Institute

「院展」の名で親しまれる日本美術院は、1898年(明治31)に創立された美術団体です。横山大観、菱田春草、下村観山らが中心となり、新しい時代にふさわしい日本画を切り開くための研究に打ち込みました。一時活動を休止しますが、1914年(大正3)に再興。画家たちは研鑽を積み、院展を舞台に数々の名作や話題作を発表しました。その後も今日にいたるまで、院展は優れた画家を輩出し、画壇を代表する団体のひとつとして重要な役割を果たしています。

足立美術館では、日本美術院同人の新作や各賞の入賞作など、総数90点を展示します。本展は、中国地方では最も早い開催です。ぜひ、この機会に現代日本画の魅力をご堪能ください。



田淵俊夫「旅の思い出 天山」



西田俊英「白光 旅立ち」



手塚雄二「阿吽図屏風 阿」



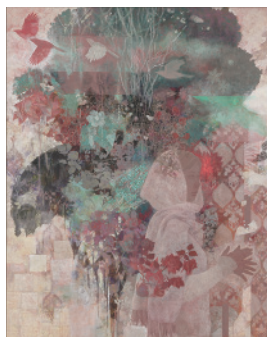
井手康人「煉獄」



國司華子「不・言・楽(本編)」



蘆谷 実「浅間山・初冠雪の頃」



守 みどり「雪を待つ」



岩谷晃太「夜を渡る」



澁澤 青「行く道と、来た道」

特別ギャラリートークを
開催します

【日時】10月24日(土)10:30～(約45分) ※特別ギャラリートークへの参加には入館料が必要です。
【講師】井手康人氏、國司華子氏、蘆谷 実氏、前田 力氏(いずれも日本美術院同人)

日本美術院同人(本展出品)

下田義寛	伊藤彰耳	田淵俊夫	手塚雄二	西田俊英	松村公嗣	大矢 紀	高橋天山	吉村誠司	村上裕二	倉島重友
清水由朗	齋藤満栄	小田野尚之	宮北千織	北田克己	村岡貴美男	井手康人	中村 譲	國司華子	蘆谷 実	岸野 香
番場三雄	高島圭史	山本浩之	山田 伸	前田 力	【特別展示】那波多目一					